

平成30年度（2018年度）

# 入学者選抜要項

公立小松大学

# 目 次

1.	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2.	募集人員及び試験日	3
3.	入学者選抜方法等	4
	（1）一般入試	4
	（2）推薦入試，社会人入試	5
4.	一般入試	6
	（1）実施日程	6
	（2）出願資格	6
	（3）入学者選抜の実施教科・科目等	7
5.	推薦入試	15
	（1）実施日程	15
	（2）推薦要件	15
	（3）入学者選抜の実施教科・科目等	16
	【一般推薦】	17
	【地域推薦】	20
6.	社会人入試	21
	（1）実施日程	21
	（2）出願資格	21
	（3）入学者選抜方法等	21
7.	受験及び就学上特別な配慮を必要とする者との事前相談	22
8.	入学検定料及び入学料	22
9.	学生募集要項の発表時期等	23
	（1）募集要項の発表・配付予定時期	23
	（2）問い合わせ先	23

【別紙】平成30年度公立小松大学入学者選抜日程

## 1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、基本理念である「地域と世界で活躍する人間性豊かなグローバル人材を育成する大学」「持続的発展に向けて生産システムや人間の健康医療の科学技術を革新し、異文化交流を推進する大学」「地域に対して貢献し、地域によって支えられ、地方を共創する大学」に共感し、十分な基礎学力とともに、次のような資質を有する学生を求める。

- 学習意欲と探究心を持って自己実現を目指す人
- 豊かな教養を身につけ、地域社会と人類の発展に寄与しようと努力する人
- 社会が抱える問題について主体的に学び、その解決に取り組む意欲のある人

### 【生産システム科学部生産システム科学科】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、地域と世界の産業に貢献しようとする次のような学生を求める。

- 数学、物理など、ものづくりの仕組みを理解できる基礎学力を有し、機械、電気、電子、情報に関する知識や仕組みについて高い関心をもつ人
- サステナブル（持続可能な）社会の実現を目指し、未来の生産システムの構築に強い意欲をもって取り組める人
- 豊かな教養と幅広い人間性を備え、地域社会の持続的発展に誇りと喜びを持って貢献できる人

### 【保健医療学部看護学科】

本学科の設置の目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した3つのすべてを併せ持つ次のような学生を求める。

- 人々の営みや健康問題に関心を持ち、看護師または保健師として地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようと努力する人
- 相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができる人
- 看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力を持った人

### 【保健医療学部臨床工学科】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、本学科を成長の場としたいと願う次のような学生を求める。

- 人の尊厳を重んじ、生命への高い関心と倫理観を有する人
- 人の命に対して真摯に向き合い、病を抱える人の回復のために自らの持つ力を最大限に発揮して取り組もうとする人
- 臨床工学を学ぶための理数系科目の基礎学力と、医療に関する高い学修意欲を有する人
- 医療専門職の一員として、関連する医療職種を理解し、チーム医療や地域医療に貢献のできる資質を有する人

## 【国際文化交流学部国際文化交流学科】

国際的視野から地域貢献を目指す人文社会学系の総合学部であり、本学科の教育理念及び教育目標に基づいて次のような学生を求める。

- 南加賀地域及び北陸の発展に強い意欲を有する人
- 自国の文化に誇りをもち、国際社会とその文化的多様性を探求することを通じて、南加賀地域をはじめとする地域社会の発展に貢献できる人
- 海外事情に関心があり、外国語能力をさらに向上させたい人
- 地域社会などの実態調査を通じて情報分析能力を身につけたい人
- 問題発見能力を鍛え、個性的な発想によって新しい価値を創造する意欲のある人

## 2. 募集人員及び試験日

学部	学科	入学定員	入試区分と募集人員（単位：人）					
			一般入試		特別入試			
			A日程	B日程	一般	推薦入試		社会人入試
						市内	県内	
生産システム科学部	生産システム科学科	80	45	15	7	8	5	—
保健医療学部	看護学科	50	30	8	2	5	5	若干名*
	臨床工学科	30	17	5	3	3	2	若干名*
	計	80	47	13	5	8	7	若干名*
国際文化交流学部	国際文化交流学科	80	35	25	7	8	5	—
合 計		240	127	53	19	24	17	若干名*
大学入試センター試験			課す			課さない		
個別学力検査等の試験日			2.18 (日)	3.10 (土)	1.27 (土)	12.2.(土)		

(注) 1. 一般入試について

国公立の前期日程、後期日程ではなく、独自のA日程、B日程で実施します。また、中期日程は実施しません。

2. 推薦入試について

(1) 推薦入試の市内とは石川県小松市内を、県内とは石川県内をそれぞれ指します。

(2) 推薦入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

3. 社会人入試について

保健医療学部の社会人入試の募集人員（若干名※印）は、各学科の一般入試の内数とします。

4. 「-」印は、当該入試を実施しないことを示します。

### 3. 入学者選抜方法等

#### (1) 一般入試

一般入試について、国公立の前期日程、後期日程ではなく、独自のA日程、B日程で実施します。また、中期日程は実施しません。

選抜方法等  学部・学科		個別学力検査等								専門 高校・ 総合学 科卒業 生入試	個別 学力検 査等の 日程	備考 (欠員 の補 充の 方法 等)
		個別 学力 検 査を 課す	実技検査等				2段階選抜					
			実 技 検 査 を 課 す	面 接 又 は 口 述 試 験 を 行 う	小 論 文 を 課 す	外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す	主 と し て、 大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 の 成 績 に よ り 第 1 段 階 選 抜 を 行 う に あ ら わ ず、 そ の 合 格 者 に つ い て 更 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率			
<b>A日程</b>												3 2 1 欠員の補充は、「A日程」と「B日程」の併願はできません。追加合格及び欠員補充第2次募集により行います。
生産システム科学部	生産システム科学科	○	×	×	×	×	○	10倍程度	×	×	平成30年 2月18日 (日)	
保健医療学部	看護学科	×	×	○	×	×	○	10倍程度	×	×	平成30年 2月18日 (日)	
	臨床工学科	×	×	○	○	×	○	10倍程度	×			
国際文化交流学部	国際文化交流学科	×	×	×	○	×	○	10倍程度	×	×	平成30年 2月18日 (日)	
<b>B日程</b>												
生産システム科学部	生産システム科学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	平成30年 3月10日 (土)	
保健医療学部	看護学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	平成30年 3月10日 (土)	
	臨床工学科	×	×	○	×	×	×	×	×			
国際文化交流学部	国際文化交流学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	平成30年 3月10日 (土)	

- (注) 1. ○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。  
2. 実施教科・科目等は、7～13ページで確認してください。

(2) 推薦入試、社会人入試

選抜方法等 学部・学科			推薦入試							帰国子女・社会人等 のための入試			その他の入試	備考	
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し 調査書を主な資料として判定する							推薦入試 募集人員	帰国子女	中国引揚者等 子女			社会人
			学 部 入 試	個 別 学 力 検 査 を 免 除 し、 大 学 入 試 を 課 す	セ ン タ ー 試 験 を 免 除 す	実技検査等									
実 技 検 査 を 課 す	面 接 又 は 口 述 試 験 を 行 う	小 論 文 を 課 す	外 国 語 に お け る リス ニ ン	そ の 他	推 薦 入 試 募 集 人 員	帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人							
生産システム科学部	生産システム科学科	一般推薦	○	×	×	○	×	×	×	7人					
		地域推薦 (市内・県内)	×	○	×	○	×	×	×	8人	×	×	×	×	
			5人												
保健医療学部	看護学科	一般推薦	○	×	×	○	×	×	×	2人					
		地域推薦 (市内・県内)	×	○	×	○	×	×	×	5人	×	×	○	×	
	5人														
	臨床工学科	一般推薦	○	×	×	○	×	×	×	3人					
		地域推薦 (市内・県内)	×	○	×	○	×	×	×	3人	×	×	○	×	
	2人														
国際文化交流学部	国際文化交流学科	一般推薦	○	×	×	○	×	×	課題作文 ○	7人					
		地域推薦 (市内・県内)	×	○	×	○	×	×	課題作文 ○	8人	×	×	×	×	
			5人												

- (注) 1. ○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。  
 2. 推薦入試の地域推薦に係る「推薦入試募集人員」欄の上段は市内推薦を、下段は県内推薦の募集人員をそれぞれ示します。  
 3. 社会人入試は大学入試センター試験を課さない入試です。  
 4. 推薦入試及び社会人入試の実施日程等は、14～20ページで確認してください。

## 4. 一般入試

一般入試について、国公立の前期日程、後期日程ではなく、独自のA日程、B日程で実施します。また、中期日程は実施しません。

入学者の選抜は、平成30年度大学入試センター試験並びに本学が行う個別学力検査等及び調査書の審査の結果を総合して行います。また、調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

### (1) 実施日程

- ① 平成30年度大学入試センター試験  
平成30年1月13日（土）、14日（日）
- ② 個別学力検査等

区 分	出願期間	2段階選抜の第1段階 選抜合格者発表日	入学試験 日	合格者 発表日	入学手続期 限
A日程	1月15日 (月)～	2月4日(日)	2月18日 (日)	2月28日 (水)	3月9日 (金)まで
B日程	1月24日 (水)	-	3月10日 (土)	3月19日 (月)	3月26日 (月)まで

(注) 2段階選抜は、A日程で実施する全ての学部学科で行います。

### (2) 出願資格

次の①から③のいずれかに該当し、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験において、志願する学部学科が課す全ての教科・科目を受験した者

- ① 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次のアからキのいずれかに該当する者）
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
  - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
  - エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
  - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成30年3月31日までに合格見込みの者で、平

成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

カ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者で、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

キ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 18 歳に達したもの

※ 上記出願資格「キ」により出願しようとする者は、本要項 22 ページの「問い合わせ先」へご照会ください。

### (3) 入学者選抜の実施教科・科目等

① 大学入試センター試験の「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

② 個別学力検査の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」の出題範囲については、次のとおりです。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」… それぞれの全範囲を出題範囲とします。

「数学B」 …………… 「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

「物理基礎・物理」 … 「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

ア 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。

ただし、『「地理歴史」「公民』』の受験科目を 1 科目と指定した学科において 2 科目受験している場合及び「理科」の受験科目を 1 科目と指定した学科において 2 科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第 1 解答科目の成績を利用します。（第 1 解答科目が指定した科目以外の場合は失格となります。）

（大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民』』及び「理科②」の試験時間において 2 科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第 1 解答科目、後半に受験した科目を第 2 解答科目とします。）

イ 大学入試センター試験で「数学」2 科目又は「理科」2 科目を課す学科については、2 科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々 2 分の 1 とします。

ウ 大学入試センター試験の「英語」は、筆記試験とリスニングテストを利用します。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の英語については、筆記試験の得点をそのまま利用します。ただし、国際文化交流学部については、得点に 1.25 倍とした傾斜配点とします。

④ 大学入試センター試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。

また、個別学力検査等で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格となります。

⑤ 2段階選抜の実施について

A日程試験を実施する3学部4学科（生産システム科学部生産システム科学科、保健医療学部看護学科及び臨床工学科、国際文化交流学部国際文化交流学科）の志願者数が募集人員に対する予告倍率（10倍程度）を超えた場合には、大学入試センター試験の教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。

その場合は、第1段階選抜合格者についてのみ第2段階選抜を実施します。

⑥ 各学科の内容が表示してある表の下にも「注意事項」が書いてあります。必ず参照してください。

【生産システム科学部生産システム科学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
A日程	45人	国語	「国語」	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
		地歴 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」		
			「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目		
		理科	「物理」		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[5教科6科目]			
B日程	15人	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目	理科	物理基礎・物理
			「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目		
		理科	「物理」		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[3教科4科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
A日程	センター試験	100	50		200 100×2	100	200			650
	個別試験				300	300				600
	計	100	50		500	400	200			1,250
B日程	センター試験				200 100×2	100	200			500
	個別試験					400				400
	計				200	500	200			900

大学入試センター試験の注意事項

- 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点で100点とします。
- 『「地理歴史」「公民」』で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。  
また、素点100点満点を傾斜配点で50点とします。
- 「理科」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
- 「英語」は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。

【保健医療学部看護学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
A 日程	30 人	国語	「国語」	その他	面接（集団） 多面的な質問を行い、 勉学意欲と資質・適性を 評定します。
		地歴 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、 「地理 B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 から 1 科目		
		数学	「数学 I」、「数学 I・数学 A」から 1 科目		
			「数学 II」、「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」 から 1 科目		
		理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から 2 科 目又は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 1 科目		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
[5 教科 6 科目]又は[5 教科 7 科目]					
B 日程	8 人	数学	「数学 I」、「数学 I・数学 A」から 1 科目	その他	面接（個人） 多面的な質問を行 い、勉学意欲と資 質・適性を評定し ます。
			「数学 II」、「数学 II・数学 B」から 1 科目		
		理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から 2 科 目又は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 1 科目		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
[3 教科 4 科目]又は[3 教科 5 科目]					

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
A 日程	センター試験	150	100		100 50×2	100	200			650
	個別試験								100	100
	計	150	100		100	100	200		100	750
B 日程	センター試験				100 50×2	100	200			400
	個別試験								200	200
	計				100	100	200		200	600

大学入試センター試験の注意事項

- 「国語」は、素点 200 点満点を傾斜配点で 150 点とします。
- 『「地理歴史」「公民』で 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目の成績を利用します。
- 「数学」は、2 科目とも素点 100 点満点を傾斜配点で 50 点とし、合わせて 100 点とします。
- 「理科」で基礎を付した科目 2 科目の合計、又は基礎を付さない科目（2 科目受験している場合は

第1解答科目)のうち、高得点の成績を利用します。

5. 「英語」は、筆記試験(素点200点満点)とリスニングテスト(素点50点満点)の合計点(250点)を傾斜配点で200点とします。

【保健医療学部臨床工学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
A日程	17人	国語	「国語」	その他	小論文 人間、社会、健康、自然、等に関する課題について、論述することを求めます。
		地歴 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目		
		数学	「数学 I」、「数学 I・数学 A」から1科目	その他	面接（集団） 多面的な質問を行い、 勉学意欲と資質・適性を 評価します。
			「数学 II」、「数学 II・数学 B」から1科目		
		理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[5教科7科目]			
B日程	5人	数学	「数学 I」、「数学 I・数学 A」から1科目	その他	面接（個人） 多面的な質問を行い、 勉学意欲と資質・適性を 評価します。
			「数学 II」、「数学 II・数学 B」から1科目		
		理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[3教科5科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
A日程	センター試験	100	100		200 100×2	200 100×2	200			800
	個別試験							100	100	200
	計	100	100		200	200	200	100	100	1,000
B日程	センター試験				200 100×2	200 100×2	200			600
	個別試験								200	200
	計				200	200	200		200	800

大学入試センター試験の注意事項

1. 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点で100点とします。
2. 『「地理歴史」「公民」』で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
3. 「英語」は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。

【国際文化交流学部国際文化交流学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

日程	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
A 日程	35人	国語	「国語」	その他	小論文 社会、歴史、文化、 言葉等に関する英 語と日本語の文章 を一つずつ提示 し、それぞれにつ いて文章理解に基 づき日本語で論述 をさせる。
		地歴 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、 「地理 B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 から 2 科目  〔ただし、「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」のうち 1 科目以上を含むこと〕		
		数学 理科	「数学 I」、「数学 I・数学 A」、「数学 II」、「数学 II・数学 B」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」から 1 科目  〔ただし、基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生 物基礎」、「地学基礎」）については、2 科目の受験で 1 科目 とみなす。〕		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[4 教科 5 科目]、[4 教科 6 科目]、 [5 教科 5 科目]又は[5 教科 6 科目]			
B 日程	25人	国語	「国語」	その他	小論文 社会、歴史、文化、 言葉等に関する日 本語の文章を二つ 提示し、それぞれ について文章理解 に基づく論述をさ せる。
		地歴 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、 「地理 B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」 から 2 科目  〔ただし、「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」のうち 1 科目以上を含むこと〕		
		数学 理科	「数学 I」、「数学 I・数学 A」、「数学 II」、「数学 II・数学 B」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」、「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」から 1 科目  〔ただし、基礎を付した科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生 物基礎」、「地学基礎」）については、2 科目の受験で 1 科目 とみなす。〕		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[4 教科 5 科目]、[4 教科 6 科目]、 [5 教科 5 科目]又は[5 教科 6 科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
A日程	センター試験	200	200 100×2		100		250			750
	個別試験						250			250
	計	200	200		100		250	250		1,000
B日程	センター試験	200	200 100×2		100		250			750
	個別試験						250			250
	計	200	200		100		250	250		1,000

大学入試センター試験の注意事項

1. 「数学」、「理科」において、「理科」で基礎を付した科目2科目の合計、又は基礎を付さない科目（2科目受験している場合は第1解答科目）及び「数学」のうち、高得点の成績を利用します。

## 5. 推薦入試

### (1) 実施日程

- ① 平成 30 年度大学入試センター試験（一般推薦のみ）

平成 30 年 1 月 13 日（土）、14 日（日）

- ② 個別学力検査等

推薦区分	出願期間	入学試験日	合格者発表日	入学手続期限
一般推薦	12 月 11 日（月）～ 12 月 20 日（水）	1 月 27 日（土）	2 月 5 日（月）	2 月 14 日（水）まで
地域推薦	11 月 1 日（水）～ 11 月 10 日（金）	12 月 2 日（土）	12 月 8 日（金）	12 月 22 日（金）まで

### (2) 推薦要件

以下の要件を満たし、調査書の評定平均値が一定水準以上（一般推薦及び地域推薦ともに B 段階 3.5 以上）あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学することを確約できる者を対象に推薦入試を実施します。ただし、推薦できる者は、一般推薦及び地域推薦ごとに 1 高等学校からの推薦数を指定（以下の②と③を参照）します。

- ① 出願資格

次のア～ウのいずれかに該当する者

ア 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者

イ 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までに修了又は修了見込みの者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までに修了又は修了見込みの者

- ② 一般推薦

ア 平成 30 年度大学入試センター試験で志願する学部学科が課す教科・科目を受験する者

イ 高等学校からの推薦人数は、各学部学科とも 1 校 1 名以内です。

- ③ 地域推薦

大学入試センター試験を免除します。

ア 市内推薦

次の i 又は ii のいずれかに該当する者

i 小松市内に所在する高等学校を平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者

ii 高等学校卒業年度の 4 月 1 日以前から引き続き小松市内に住所を有する者で、小松市外に所在する高等学校を平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者

◎ 高等学校からの推薦人数は、学部学科ごとに次のとおりです。

- ・ 生産システム科学部 生産システム科学科 1校3名以内
- ・ 保健医療学部 看護学科 1校2名以内
- ・ 保健医療学部 臨床工学科 1校1名以内
- ・ 国際文化交流学部 国際文化交流学科 1校3名以内

イ 県内推薦

i 石川県内（小松市を除く）に所在する高等学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、高等学校卒業年度の4月1日以前から引き続き石川県内（小松市を除く）に住所を有する者

◎ 高等学校からの推薦人数は、各学部学科とも1校1名以内です。

### (3) 入学者選抜の実施教科・科目等

① 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

ア 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。

ただし、『「地理歴史」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格となります。）

（大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

イ 大学入試センター試験で「数学」2科目を課す学科については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

ウ 大学入試センター試験の「英語」は、筆記試験とリスニングテストを利用します。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の英語については、筆記試験の得点をそのまま利用します。

② 大学入試センター試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格となります。

③ 各学科の内容が表示してある表の下にも「注意事項」が書いてありますので、必ず参照してください。

【一般推薦】

一般推薦は、平成30年度大学入試センター試験により一定の基礎学力を確かめるとともに、調査書、推薦書、志願理由等の出願書類審査、面接、課題作文等により総合的に判定します。また、調査書、推薦書及び志願理由書の出願書類は、履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

【生産システム科学部】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

学科	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
生産システム 科学科	7人	数学	「数学Ⅰ・数学A」	その他	面接（個人） 多面的な質問を行い、 勉学意欲と資質・適性を 評定します。（数学・物理 の基礎に関する試問を含む）
			「数学Ⅱ・数学B」		
		理科	「物理」		
		[2教科3科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
生産システム 科学科	センター試験				200 100×2	100				300
	個別試験								100	100
	計				200	100			100	400

大学入試センター試験の注意事項

1. 「理科」で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格となります。）

【保健医療学部】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

学科	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
看護学科	2人	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目	その他	面接（個人） 多面的な質問を行い、 勉学意欲と資質・適性を 評価します。
			「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[2教科3科目]			
臨床工学科	3人	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目	その他	面接（個人） 多面的な質問を行い、 勉学意欲と資質・適性を 評価します。
			「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）		
		[2教科3科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
看護学科	センター試験				100 50×2		200			300
	個別試験								200	200
	計				100		200		200	500
臨床工学科	センター試験				100 50×2		200			300
	個別試験								200	200
	計				100		200		200	500

大学入試センター試験の注意事項（看護学科・臨床工学科 共通）

1. 「数学」は、2科目とも素点100点満点を傾斜配点で50点とし、合わせて100点とします。
2. 「英語」は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。

【国際文化交流学部】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

学科	募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名等		個別学力検査等 教科・科目名等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
国際文化交流 学科	7人	国語	国語	その他	面接（個人） 多面的な質問を行い、 勉学意欲と資質・適性を 評定します。
		地歴 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、 「日本史 A」、「日本史 B」、 「地理 A」、「地理 B」、 「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、 政治・経済」から1科目		
		外国語	「英語」（リスニングを含む）	その他	課題作文 日常生活又は地域、 国際をテーマとする 日本語による導入文 （リード文）を提示し、 当該テーマについて 自由作文させる。
		[3教科3科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	課題作文	面接	配点合計
国際文化交流 学科	センター試験	100	100				200			400
	個別試験							200	200	400
	計	100	100				200	200	200	800

大学入試センター試験の注意事項

1. 「国語」は、素点 200 点満点を傾斜配点で 100 点とします。
2. 『「地理歴史」「公民」』で 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目の成績を利用します。
3. 「英語」は、筆記試験（素点 200 点満点）とリスニングテスト（素点 50 点満点）の合計点（250 点）を傾斜配点で 200 点とします。

【地域推薦（市内推薦・県内推薦）】

市内推薦及び県内推薦は、大学入試センター試験を免除し、調査書、推薦書、志願理由等の出願書類審査、面接、課題作文等により学習意欲や能力を総合的に判定します。また、調査書、推薦書及び志願理由書の出願書類は、履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

学部学科		推薦区分	募集人員	1 高校の推薦数	個別学力検査等教科・科目名等	
					教科等	科目名等
生産システム科学部	生産システム科学科	市内推薦	8人	3人以内	その他	面接（個人） 100点 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。（数学・物理の基礎に関する試問を含む）
		県内推薦	5人	1人以内		
保健医療学部	看護学科	市内推薦	5人	2人以内	その他	面接（個人） 200点 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。
		県内推薦	5人	1人以内		
	臨床工学科	市内推薦	3人	1人以内	その他	面接（個人） 200点 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。
		県内推薦	2人	1人以内		
国際文化交流学部	国際文化交流学科	市内推薦	8人	3人以内	その他	面接（個人） 100点 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。
		県内推薦	5人	1人以内	その他	課題作文 100点 日常生活又は地域、国際をテーマとする英語による導入文（リード文）を提示し、当該テーマについて日本語で自由作文させる。

## 6. 社会人入試

### (1) 実施日程

個別学力検査等

区分	出願期間	入学試験日	合格者発表日	入学手続期限
社会人入試	11月1日(水)～ 11月10日(金)	12月2日(土)	12月8日(金)	12月22日(金)まで

### (2) 出願資格

次のア～ウのいずれかに該当し、満23歳(平成30年3月31日まで)に達しており、社会人としての実務経験(非正規雇用及びNPO、NGOでの活動を含む)3年以上有する者を対象に、社会人入試を実施します。

ア 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

ウ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※ 上記出願資格「ウ」により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行う場合がありますので、願書受付開始日の1週間前までに本要項22ページの「問い合わせ先」へご照会ください。

### (3) 入学者選抜方法等

学部学科	募集人員	選抜方法等
保健医療学部	看護学科	若干名
	臨床工学科	若干名

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書、志願理由書の審査、面接、小論文により総合的に判定します

面接(個人) 200点  
多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。

小論文 200点  
人間、社会、健康、自然、等に関する課題について、論述することを求めます。

## 7. 受験及び就学上特別な配慮を必要とする者との事前相談

本学に入学を志願する者で、身体に障がい等があり、受験及び就学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に本学に相談書等を提出し、相談してください。

### (1) 相談締切日

- |         |      |                          |
|---------|------|--------------------------|
| ① 一般入試  |      | 平成 30 年 1 月 9 日 (火) まで   |
| ② 推薦入試  | 一般推薦 | 平成 29 年 12 月 4 日 (月) まで  |
|         | 地域推薦 | 平成 29 年 10 月 25 日 (水) まで |
| ③ 社会人入試 |      | 平成 29 年 10 月 25 日 (水) まで |

### (2) 提出書類

事前相談書 (下記の事項を記載してください。様式は問いません。)

- ① 志願者氏名
- ② 連絡先
- ③ 障がいの種類・程度
- ④ 志願する学部学科、受験する入試区分
- ⑤ 受験・就学において配慮を希望する事項
- ⑥ 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
- ⑦ 日常生活の状況

### (3) 問い合わせ先

小松市 総合政策部 公立大学設立準備室

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3 小松短期大学内

電話：0761-44-3530 (平日午前9時から午後5時まで)

E-mail: [d-junbi@city.komatsu.lg.jp](mailto:d-junbi@city.komatsu.lg.jp)

## 8. 入学検定料及び入学金

平成30年度の初年度学納金等は、次の通り予定しております。

(1) 入学検定料 17,000 円

(2) 入学金 ※1

- |           |           |
|-----------|-----------|
| ① 市内学生 ※2 | 282,000 円 |
| ② その他     | 423,000 円 |

※1 納入した入学金は返還いたしません。

※2 「市内学生」とは、次のいずれかに該当する者を対象とします。

- ・ 入学前年の4月1日以前から引き続き小松市内に住所を有している者
- ・ 入学前年の4月1日以前から引き続き1親等の親族が小松市内に住所を有している者

## 9. 学生募集要項の発表時期等

### (1) 募集要項の発表・配付予定時期

募集要項名	発表予定	配付予定
一般入試	平成 29 年 10 月下旬	平成 29 年 11 月上旬
推薦入試	平成 29 年 9 月下旬	平成 29 年 10 月上旬
社会人入試		

### (2) 問い合わせ先

電話での問い合わせは、平日（月曜日から金曜日）午前 9 時から午後 5 時の間をお願いします。

小松市 総合政策部 公立大学設立準備室

〒923-8511 石川県小松市四丁町又 1 番地 3 小松短期大学内

電 話 0761-44-3530

E-mail [d-junbi@city.komatsu.lg.jp](mailto:d-junbi@city.komatsu.lg.jp)

【別紙】平成30年度公立小松大学入学者選抜日程

入試区分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
一般 入試	A日程	平成30年 1月15日(月) ～ 平成30年 1月24日(水)	平成30年 2月18日(日)	平成30年 2月28日(水)	平成30年 3月9日(金)まで
	B日程	平成30年 1月15日(月) ～ 平成30年 1月24日(水)	平成30年 3月10日(土)	平成30年 3月19日(月)	平成30年 3月26日(月)まで
推薦 入試	一般推薦入試	平成29年 12月11日(月) ～ 平成29年 12月20日(水)	平成30年 1月27日(土)	平成30年 2月5日(月)	平成30年 2月14日(水)まで
	地域推薦入試 (市内、県内)	平成29年 11月1日(水) ～ 平成29年 11月10日(金)	平成29年 12月2日(土)	平成29年 12月8日(金)	平成29年 12月22日(金)まで
社会人入試		平成29年 11月1日(水) ～ 平成29年 11月10日(金)	平成29年 12月2日(土)	平成29年 12月8日(金)	平成29年 12月22日(金)まで